

第19回 市長と話そうの様子

開催日時	2026年1月14日（水） 10:00 ～ 11:30	場所	板井畑自治公民館
団体名	星降（ほしごう）共生クラブ		
団体概要	垣河内地区と泊地区の一部の住民で構成される老人クラブ ・美化活動（神社、集落の道路） ・研修 ・スポーツ参加		
話し合いのテーマ	・星降共生クラブの活動について ・地区の困りごとについて		
参加者	20名（団体メンバー19名、西岡市長）		

対話の様子

冒頭に西岡市長より、自身の出身地や経歴等について自己紹介がありました。その後の対話では、「星降共生クラブ」の活動内容や、地域における困りごとなどについて活発な意見交換が行われました。参加者からは、以下のようなお話やご意見がありました。

- ・ 地区の清掃や道路の補修など地区のことは自分たちでやりたいという気持ちはある。ただ高齢化が進んでおり、だんだん厳しくなっている。
- ・ 健康体操の教室に通っている。ほっと生き生きサポーターが指導をしてくれて、もう3年目になるが非常に楽しい。臼杵市は良いことをしている。
- ・ 地区の人がだんだん減少しているが、この先限界集落になることが心配。若い人も大学に出て就職したら帰ってこない。企業誘致とかで若い人が働く場所をつくってほしい。
- ・ 一番の心配事は交通のこと。車の免許を返納した際に、路線バスの便が少なく、コミュニティバスも来ない今の公共交通の状況では非常に不便になるだろうと考えている。
- ・ 市役所にたまに手続きに行くが、職員の方は丁寧な挨拶や対応をしてくれるが、申請書類に関してどれも字が小さいし書く欄も小さい。書かずに画面を見ながら手続きができるようにしてほしい。野津庁舎と臼杵庁舎をテレビで繋いで手続きができるサービスは便利。
- ・ 二孝女物語の顕彰について。昨年、常陸太田市との姉妹都市締結10周年の記念事業の市民交流団の一員として常陸太田市を訪問したが、常陸太田市の歓迎（おもてなし）に非常に感動した。今年は臼杵市が常陸太田市の市民交流団を受け入れる年。機運を盛り上げていく必要がある。

市長からは、以下のような話がありました。

- ・ 臼杵市では約10年前より移住・定住支援策を展開しており、これまでの累計移住者数は2,000人を超えている。臼杵で子育てしたい、地方での暮らしに価値を見出す層をターゲットに、引き続き移住・定住促進を進めていきたい。
- ・ 現在運転されている方々も、10年後には高齢化により運転が困難になるケースが増加すると認識している。このような課題に対する、先駆的な取り組みとして、臼杵地域の海辺地区では、地域振興協議会が主体となって、互助による移動支援事業（あまべスマイルバス）が展開されている。他地域で同様の助け合いの仕組みを検討する際には、地域の実情を十分に配慮した上で、市も一緒に考えていきたい。
- ・ 本日はいただいたご意見や課題については、しっかりと受け止めていきたい。

たくさんの貴重なご意見ありがとうございました。“市長と話そう”では、市民の皆様の声を聴き、一緒に考え、よりよい臼杵市の未来を描くため、今後もさまざまな団体と対話を行っていきます！

